

大田区 令和2年度予算(案)の概要

防災力の強化・新しい世代の礎となる予算

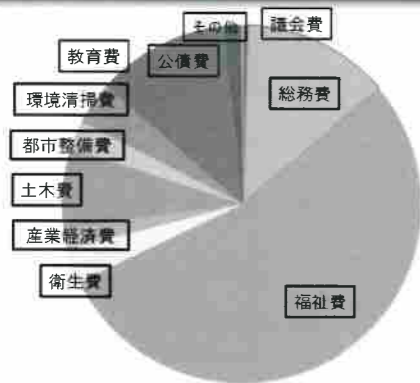
一般会計総額
2,873億8,746万2千円
(前年度比1.9%増)

予算編成にあたって

令和2年度は、「おおた未来プラン10年」の成果を踏まえて「新基本計画」を策定する年にあたり、切れ目ない施策展開を図るため「おおた重点プログラム」を着実に推進するとともに、4つの重点課題を掲げ、「防災力の強化・新しい世代の礎となる予算」としました。



一般会計歳出予算



歳出	予算(千円)	割合(%)
議会費	1,123,853	0.4
総務費	38,489,701	13.4
福祉費	155,258,483	54.0
衛生費	8,775,004	3.1
産業経済費	5,631,990	2.0
土木費	20,561,233	7.2
都市整備費	7,426,335	2.6
環境清掃費	11,050,171	3.8
教育費	34,054,453	11.8
公債費	4,472,324	1.6
その他	543,915	0.2
合計	287,387,462	100

①安心して子どもを産み育てられ、未来を担う子どもたちの成長を応援する取組み【子育て・教育の充実】 125億9,783万6千円

《出産・子育て応援》

- 産後ケアの充実(宿泊型)(816万1千円)㊦
- 特定不妊治療費助成事業の開始(4,383万6千円)
- (仮称)大田区子ども家庭総合支援センターの整備(1,197万2千円)㊦
- 子どもの長期休暇応援プロジェクトの充実(200万円)㊦
- 離婚と養育費にかかわる総合相談の充実(77万円)㊦

《待機児童対策》

- 待機児童対策の推進(56億8,425万9千円)㊦
- (認可保育所の整備、認証保育所の認可化移行、ベビーシッター利用者への支援拡大など)

《子ども育成、教育の充実》

- 小学校のICT教育環境整備の拡充(2億1,576万9千円)㊦
- 外国語教育の拡充(2億6,393万円)㊦
- 小中学校体育館等空調設備の整備(3億4,481万9千円)㊦
- 校舎の改築(55億1,199万4千円)㊦
- 教員の働き方改革(2億6,782万円)
- 不登校対策事業の推進(2億3,157万4千円)
- 「こども学習支援ボランティア」の養成と夏休み学習教室の開設(外国籍の子どもの学びをサポート)(33万円)
- 高等学校等進学予定者に対する給付型奨学金の創設(1,060万2千円)

先駆的



②生涯を通して誰もが健やかに元気に暮らせるまちづくり【健康・福祉の充実、地域拠点の整備】 34億7,581万4千円

《健康づくり、医療連携》

- はねびよん健康ポイントの充実(5,584万3千円)㊦
- 「おおた健康経営事業所」の認定(177万8千円)㊦
- 「キラリ☆健康おおた」の推進(334万7千円)
- がん対策の強化及び新たな検診の導入(1億7,763万1千円)
- 医療相談窓口(コールセンター型)開設事業(516万1千円)
- ひきこもり支援の充実(796万9千円)㊦
- 人生100年を見据えた健康寿命延伸プロジェクト(1,600万9千円)

23区初



先駆的

《福祉の充実、高齢者支援》

- 大田区奨学金 人材確保型特別減免制度の創設(117万7千円)㊦
- 人生100年時代における老いじたくの推進(234万1千円)
- 成年後見制度利用促進中核機関の設置(121万4千円)㊦
- おおたフレイル予防事業(621万6千円)㊦
- 大田区若年性認知症支援相談窓口の新規開設(2,032万8千円)
- (仮称)特別養護老人ホーム大森東整備計画(433万1千円)㊦
- (仮称)児童発達支援センター田園調布の整備(1億6,737万円)
- 福祉人材の確保・育成・定着(195万7千円)㊦
- 地域支え合いの推進(高齢者の力を中心に多世代に渡る支え合い)(5,612万6千円)

先駆的

23区初

《多世代が集う地域拠点の整備》

- 公共施設の整備(28億7,876万2千円)(蒲田西・大森西・田園調布地区)㊦
- 図書館ICTタグシステムの導入(6,825万4千円)㊦

③住む人、訪れる人が、安全で安心して過ごせるまちづくり【安全・安心の確保、環境対策、まちづくり】 63億4,747万7千円

《水防対策》

- 災害への備えの更なる強化(田園調布地区内水解析検討、水防資機材センター建設工事、マイ・タイムライン普及促進、企業防災普及啓発、子ども向け防災ハンドブックの作成、全区立小学校に防災ヘルメット配備など)(5億9,434万3千円)㊦

《安全・安心の確保、防災まちづくり》

- 感震ブレーカーの支給取付事業(363万6千円)
- 倒れない・燃えないまちづくりの推進(14億8,166万1千円)㊦
- 災害時医療体制の充実(2,739万8千円)㊦

《環境対策》

- 「おおたクールアクション」の推進(91万6千円)㊦
- 呑川の水質改善対策(4億1,310万2千円)㊦
- (合流改善貯留施設の整備・高濃度酸素水浄化施設設置工事)
- 給食残渣に係る食品リサイクルの推進(4,047万9千円)
- 食品ロス削減プロジェクト(230万7千円)㊦
- 屋外の喫煙対策(1億2,601万8千円)㊦

《まちづくり》

- 羽田空港跡地における成長戦略拠点の形成(9億4,883万6千円)㊦
- 都市計画マスタープランの改定(1,927万8千円)㊦
- 蒲田駅・大森駅周辺地区の整備(5億8,655万1千円)㊦
- 空港臨海部まちづくり・交通ネットワーク計画等策定(4,911万5千円)㊦
- 池上駅改築支援及び池上地区のまちづくり(12億6,574万1千円)㊦
- 新空港線の整備主体設立及び関連事業(1億9,831万9千円)㊦
- 無電柱化の推進(5億1,100万9千円)㊦
- 自転車利用総合対策の推進(1,771万8千円)㊦
- 多摩川河川敷道路複線化整備(6,105万円)

先駆的



④東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした「おおた」の発展に向けた取組み【スポーツ、観光、産業】 10億3,775万4千円

《東京2020大会事業》

- おおたウエルカムボランティア(2,529万4千円)㊦
- ブラジル選手団の事前キャンプ受け入れ(1,102万6千円)㊦
- 東京2020大会気運醸成事業(1,870万円)㊦
- 東京2020大会開催時間関連事業(1億4,440万8千円)㊦
- 聖火リレー記念銘板の設置(550万円)
- 東京2020大会レガシー事業(420万9千円)㊦
- (ポッチャ推進、ランニング環境の整備)
- 羽田空港を起点としたインバウンド誘致事業
- (仮称)ナイトタイムコンテンツによる地域にぎわい事業(1,108万5千円)㊦
- 東京2020大会を契機とした記念館・博物館での企画展(3,570万8千円)㊦
- 小中学生の東京2020大会競技観戦(3,495万3千円)



《まちの魅力の創出》

- シティプロモーション事業の実施(1,838万5千円)㊦
- MICEの推進(869万8千円)㊦

《産業の活性化》

- 事業承継支援事業(510万円)㊦
- (仮称)スマート商店街実証実験事業(5,000万円)
- 商店街魅力賑わいPR事業(1,315万円)㊦
- IoT仲間まわしによる中小企業の生産性向上プロジェクト(8,148万1千円)㊦
- スタートアップとものづくり企業の連携創出実証実験(8,430万7千円)㊦
- (仮称)南六郷創業支援施設大規模改修工事(4億8,575万円)㊦

先駆的

先駆的



大田区奨学金 人材確保型特別減免制度の創設 新規 重プ

予算額 117万7千円

副題：区内で福祉関連職に一定期間従事した人に対して、

区奨学金返還額の半額を減免します

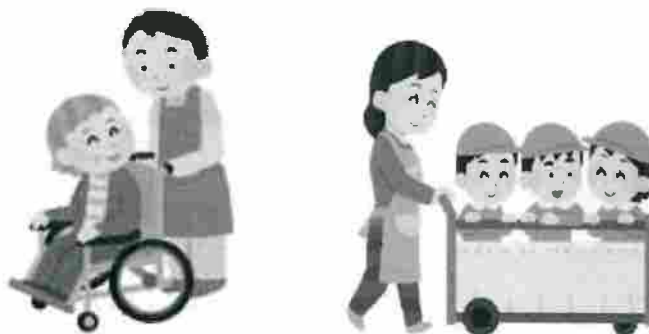
ポイント

現在、福祉関連職の人材確保が喫緊の課題となっています。区の奨学金を借り入れた人のうち、資格を保有して区内福祉関連施設などに勤める人を対象に奨学金の返還額を減免することにより、専門性の高い人材の確保・定着を図ります。

事業概要

区内に居住し、申請から継続して3年間区内福祉関連施設等に勤め、区の指定する資格(介護福祉士、社会福祉士、保育士、幼稚園教諭等)を保有する人を対象に、区奨学金返還額を最大で半額(上限額105万6千円)減免します。

区内の福祉人材の確保・定着を支援することにより、人材確保に悩む施設・法人の負担軽減を図ります。



問合先	担当部課	福祉部	福祉管理課
	課長	長谷川	電話 5744-1649 (福祉支援調整担当)
	担当者	直井	電話 5744-1245

成年後見制度利用促進中核機関の設置

新規

重プ

予算額 121万4千円

副題：成年後見制度が必要な人を早期に発見し、
支援につなげる体制づくりを整備します

ポイント

成年後見制度は、認知症や知的障がい、精神障がいなどによって物事を判断する能力が十分でない人の権利を守るための重要な制度です。

必要な人が適切に制度を利用できるよう、関係機関との連携・調整などを担う「中核機関」を設置し、対象者の早期発見や支援に結びつける権利擁護支援体制を整備します。

事業概要

複雑な課題のあるケースや対応に悩むケースに対して多角的な視点で支援内容を検討し速やかな支援につなげる会議を定期的を開催します。

本人を支援する福祉関係者だけでなく、成年後見分野の専門職である弁護士・司法書士・社会福祉士が加わることで、見落とされがちな本人の権利擁護の視点を踏まえた支援内容について検討します。

事業実施にあたっては、成年後見制度推進機関である大田区社会福祉協議会と連携し、制度の適切な運用や利用促進に取り組みます。



問合せ先	担当部課	福祉部	福祉管理課
	副参事	大淵	電話 5744-1737 (地域福祉推進担当)
	担当者	大川	電話 5744-1244

(仮称) 児童発達支援センター田園調布の整備 新規

予算額 1億6,737万円

副題：医療的ケアを含む重症心身障害児への切れ目のない支援を実施します

ポイント

令和3年度開設に向け、「(仮称) 児童発達支援センター田園調布」の改修工事などを行います。

施設の設置により、乳幼児から学齢期の、主に医療的ケアを要する障がい児を含む重症心身障害児に対する切れ目のない支援及びその家族への支援体制を整備します。

事業概要

1 児童発達支援

学齢期前の医療的ケアを含む重症心身障害児を対象に、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練などを行います。

2 放課後等デイサービス

学齢期の医療的ケアを含む重症心身障害児を対象に、放課後や長期休暇期間中、生活能力向上のために必要な訓練や社会との交流を行います。

3 相談支援

施設の利用対象となる障がい児の保護者などを対象に、基本相談、計画相談及び障害児相談支援を実施します。事業者や関係機関との連絡調整も実施します。

4 人材育成

他事業所への援助・助言や障がい者総合サポートセンターと連携した福祉人材育成に係る研修などを実施します。

問合せ先	担当部課	福祉部	障害福祉課
	課長	黄木	電話 5744-1249
	担当者	山邊	電話 5744-1700

福祉人材の確保・育成・定着

新規

重プ

予算額 195万7千円

副題：大田区の福祉を担う人材の質と量の充実を図ります。

ポイント

大田区版「地域共生社会の実現」に向けて、今後の長期的な社会情勢の変化やそれにとまなう福祉課題などに応じた、区民一人ひとりのニーズに合ったサービスを提供できるよう、人材の確保・育成・定着を図ります。さらに（仮称）福祉人材センター設置に向けて有識者との検討を開始し、早期設置をめざします。

事業概要

1 福祉人材センター設置に向けた有識者懇談会

区の実態調査の結果などを踏まえて、有識者と設置検討について話し合い、区ならではの取り組みとなる機能構築を進めます。

2 福祉人材の確保・育成・定着の実践

福祉人材センター設置の検討を進めながらも、試行的に次の施策を実施します。

(1) 介護の日本語学習プログラム作成支援

外国人材向けの介護の日本語学習プログラム作成を支援します。

(2) 採用力を高めるためのプログラム

事業者の採用力向上、採用計画の作成などを支援する研修などを実施します。

(3) 若手職員の人材育成・交流プログラム

大田区で働くことのモチベーションや魅力を高められるよう、高齢、障がいなどの分野を越えた区内事業所の若手職員向けの人材育成・交流会を実施します。



問合せ先	担当部課	福祉部	福祉管理課
	課長	有我	電話 5744-1241
	担当者	山本	電話 5744-1244

大森西地区公共施設の整備

重プ

予算額 1億909万7千円

副題：(仮称) 大森西二丁目複合施設の整備計画を推進します

ポイント

大森西地区における公共施設の更新や区民活動支援施設大森（こらぼ大森）の暫定利用期間の終了を受け、区民活動支援施設大森の敷地を中心に、周辺の公共施設の集約・複合化を行います。多世代が集う地域の拠点を整備することにより、区民の利便性の向上を目指します。

事業概要

1 コンセプト

- (1) 利便性の向上 統合後の校舎活用施設の敷地を中心とした施設の再編
- (2) 地域のにぎわい創出 多世代の方が多く集う地域の活性化拠点の整備
- (3) 防災拠点機能の強化 安全・安心なまちづくりの推進

2 施設概要

- (1) 大森西特別出張所
- (2) 大森西区民センター
- (3) 区民活動支援施設大森
- (4) 地域包括支援センター・シニアステーション
- (5) 大田区シルバー人材センター大森西作業所
- (6) 大田福祉作業所 大森西分場
- (7) こども発達センターわかばの家分館
- (8) 子ども交流センター
- (9) 大森西保育園
- (10) 防災備蓄倉庫

3 整備スケジュール（予定）

令和元～3年度 基本設計・実施設計
令和3年度～ 改修工事・建築工事

問合先	担当部課	上記2 (1) (2) (3)	地域力推進部	大森西特別出張所
		上記2 (4) (5)	福祉部	高齢福祉課
		上記2 (6) (7)	福祉部	障害福祉課
		上記2 (8)	子ども家庭部	子育て支援課
		上記2 (9)	子ども家庭部	保育サービス課
		上記2 (10)	総務部	防災危機管理課
	所長	上記2 (1) (2) (3)	須田	電話 3764-6321
	課長	上記2 (4)	酒井	電話 5744-1255
		上記2 (5)	長岡	電話 5744-1428 (元気高齢者担当)
		上記2 (6) (7)	曾根	電話 5744-1679 (障害福祉サービス推進担当)
副参事	上記2 (8)	柳沢	電話 5744-1678 (放課後居場所づくり担当)	
課長	上記2 (9)	津本	電話 5744-1276	
	上記2 (10)	長沼	電話 5744-1704	
担当者	上記2 (1) (2) (3)	倍賞	電話 3764-6321	
	上記2 (4)	降旗	電話 5744-1250	
	上記2 (5)	林	電話 5744-1252	
	上記2 (6)	山戸	電話 5744-1639	
	上記2 (7)	田島	電話 5744-1316	
	上記2 (8)	高橋	電話 5744-1273	
	上記2 (9)	根本	電話 5744-1279	
	上記2 (10)	林・平山	電話 5744-1235	

災害時要配慮者への支援にかかる備品などの拡充 新規

予算額 443万7千円

副題：災害時における要配慮者対策の充実を図ります

ポイント

各地域庁舎に発電機などを追加配備することにより、大規模停電になった際に人工呼吸器使用者が電源を確保できる体制を強化します。

また、要配慮者の避難場所となる区立障がい者施設（3施設）などに災害関係備品などを追加で配備し、要配慮者が安心して避難できる体制を整えます。

事業概要

1 人工呼吸器外部バッテリー充電用発電機及び蓄電器などの配備

各地域庁舎に来庁者向けの発電機を1台ずつ追加配備し、既存の発電機を含めて2台体制とし、人工呼吸器の電源を確保します。

また、来庁することが困難な要配慮者への対応として、新たに貸し出し用蓄電器を1台ずつ配備します。



2 災害関係備品などの購入

要配慮者の避難場所となる区立障がい者施設（志茂田福祉センター、上池台障害者福祉会館、障がい者総合サポートセンター）などに、簡易エアマット及び非常用発電機など、災害時に使用する備品などを追加配備し受け入れ体制を整えます。

問合せ先	担当部課	福祉部	福祉管理課
	副参事	大淵	電話 5744-1737（地域福祉推進担当）
	担当者	山下	電話 5744-1721